

日本鉄鋼協会記事

研究委員会

第4回委員会 開催日：7月14日。出席者：津谷研究委員長，ほか17名。

1. 日本鋼管(株)創立70周年記念資金事業案について

事務局から提出された資料「白石元治郎記念資金による事業案」を審議し異議なく了解した。

2. 石原・浅田研究助成金申請論文審査委員

次の各氏にお願いし次回研究委員会(9月8日開催)にて決定する。

製錬関係 中川(金材研)，加藤(早大)，森(名大)，佐野(東大)，成田(神鋼)

材料関係 宮川(東大)，邦武(住金)，小野寺(日鋼)，関野(新日鉄)，小野(川鉄)

3. 鉄鋼基礎共同研究会新規部会テーマ案について

委員から提出された新規部会テーマ案を8月5日までに整理委員によって統合整理し，各委員の投票によって順位を決め，次回委員会にて鉄鋼協会案を決定することにした。

整理委員

製錬関係 成田(神鋼)，大谷(東北大)，佐野(東大)

材料関係 宮川(東大)，小野寺(日鋼)，高橋(新日鉄)

4. 基礎共同研究会における著作権の取り扱い

研究委員会としては慎重に検討するためしばらく時間いただくこととした。

編集委員会

第3回編運営委員会 開催日：7月24日。出席者：加藤委員長，ほか13名。

1. 第13回ヘンダーソン賞候補論文として13件があげられ，各論文につき5名の評価者が選定された。

2. 各分科会より報告がなされた。

第5回和文会誌分科会 開催日：7月3日。出席者：加藤主査，ほか19名。

1. 22件の論文審査報告がなされ，掲載決定20件，照会后掲載可1件，その他1件であった。

2. 「鉄と鋼」第67年第16号(12月号)に論文11件，技術報告1件，解説2件掲載決定した。

第5回欧文会誌分科会 開催日：7月14日。出席者：中村主査，ほか12名。

1. 17件の論文につき審査報告がなされ，掲載可4件，照会后掲載可6件，修正依頼6件，一旦返却1件であった。

2. 「鉄と鋼」以外の国内雑誌より，5件の研究論文を勧誘することとなった。

共同研究会

第22回コークス部会 開催日：6月4～5日。出席者：研野部会長，ほか159名。開催地：神鋼(神戸)

1. 議題

(1) 共通議題I「コークス炉の稼働延長対策について」 10件

(2) 自由議題 5件

(3) 新設報告 1件

(4) 特別講演「日本における高炉のオイルレス操業について」

2. 工場見学 加古川工場(高炉，コークス炉)

第65回特殊鋼部会 開催日：7月2～3日。出席者：藤原部会長，ほか108名。

開催地：金太夫ホテル(伊香保町)

1. 共通テーマ

(1) 特殊溶解法(ESR, VAR, VIM)による特殊鋼の製造(品質及び省エネルギー，製造技術の改善)

(2) 電気炉操業技術に関するもの(迅速溶解，省エネルギー，省資源を主体とした操業技術の改善)

2. 工場見学 大同特殊鋼(株)，滝川工場

製鋼→圧延，鍛造，加工，→二次精錬

条鋼部会

第33回大形分科会 開催日：6月18～19日。出席者：吉岡主査，ほか86名。

1. テーマ研究「連続素材の活用状況と問題および将来構想」

2. 自由研究「連続圧延による鋼矢板の製造」「連続加熱炉の炉長延長結果について」「鋼矢板鋸断面の自動手入れ装置」

以上の議題について質疑応答がおこなわれた。

第50回中小形分科会 開催日：6月25～26日。出席者：三宮主査，ほか115名。

1. テーマ研究

(1) Aグループ「ロール関係について」

(2) Bグループ「製品表面疵について」

2. 自由研究

(1) Aグループ「自主管理活動の状況と効果事例」

(2) Bグループ「圧延歩留り向上対策」，「素材手入」など

3. 工場見学 新日鉄・室蘭 棒鋼工場

計測部会

第78回部会 開催日：7月9～10日。出席者：藤田部会長，ほか171名。

開催地：新日鉄・名古屋

1. 議題 本部会は計測部門に関する研究を自由に発表し討論を行っている。第78回部会の内容は以下のとおりである。

(1)製鉄部門 4件，(2)製鋼部門 4件，(3)圧延部門 11件，(4)エネルギー部門 2件，(5)鋼管部門 4件，(6)計測技術 3件，(7)計算機制御 1件，

(8)その他 6件,

2. 工場見学 名古屋製鉄所(高炉,連続熱延工場)

品質管理部会

第44回部会 開催日:7月2~3日.出席者:西澤部会長,ほか84名.

開催地:日鋼・室蘭

1. 議題

(1) 共通議題Ⅰ「検査体制の実情と問題点」13件

(2) 共通議題Ⅱ「社内規格標準類の現状と問題点」7件

(3) 機械試験,非破壊検査小委員会活動報告

2. 工場見学 日鋼・室蘭製作所

特定基礎研究会

鋼材の表面物性に関する基礎研究部会

第1回部会 開催日:6月29日.出席者:久松部会長ほか23名.

1. 部会発足までの経過報告

2. 委員紹介

3. 講演

(1)「オージェ電子分光におけるスペクトル解析と分析精度」:本間東大助教授 (2)「オージェ電子分光における深さ方向分布分析の問題点」:清水委員(電総研)

4. 研究課題アンケート結果の検討

標準化委員会

JIS 鋼杭原案作成分科会

第3回分科会 開催日:5月20日.出席者:福岡主査ほか17名.

1. H形鋼ぐい規格案の討議

2. 鋼管ぐい規格案の討議

第4回分科会 開催日:7月6日.出席者:福岡主査ほか15名.

1. 鋼管ぐい

2. H形鋼ぐい

各懸案事項を検討,修正し,第3次案を作成して書面審議することにした.

ISO 鉄鋼部会

第27回 TC5 分科会 開催日:6月15日.出席者:日下部主査,ほか6名.

1. TC5/SC1/WG14(パイプサポート)第I回会議対策

2. 第26回 TC5 分科会以降に処理された案件の報告

3. DIS 4019.3(冷間仕上ホローセクション)の検討

4. ISO 675/14/DAM1(熱間仕上げホローセクション)の検討

5. DP 5256(塗覆装鋼管)の検討

6. DIS 7598(ISO7のネジ付きステンレス鋼管)の検討

第14回 TC146 分科会 開催日:7月2日.出席者:川田主査,ほか13名.

1. 審議体制の強化

TC164の組織に対応させた小委員会を設けて審議した方が処理しやすいとの提案があり承認された.

2. TC164/SC1およびSC3国際会議対策

第70回普通鋼分科会 開催日:6月16日.出席者:小倉主査,ほか9名.

1. SPV検討

2. SLA検討

3. 80キロハイテン

高温強度研究委員会

第16回高温熱疲労試験分科会 開催日:7月10日.出席者:雑賀主査,ほか20名.

1. 分類データシートの各割当て機関における取りまとめ結果の検討について

目次にしたがって,項目ごとにまとめられたところから資料をもとにそれぞれ委員から説明が行われた.その結果データシートの図面など不鮮明なものは原本をもとに修正などの作業を行うことなどその他の協議が行われた.

2. Alloy 800の共同研究について

これまでの文献抄訳の結果をもとに主査から共同研究の方向をきめたいのでユーザー側,メーカー側の意見を聞きたいとしてそれぞれ委員の意見を求められた.この結果,次回には結論をだしたいとして,住金,新日鉄などに Incoloy 800のデータがあれば紹介してほしいことが決められた.

第5回クリープ強度外挿法分科会

開催日:6月26日.出席者:藤田主査,ほか16名.

1. 割当て文献の要約発表について

(1) オーステナイト系ステンレス鋼の短時間と長時間機械的性質間の関係(千代田化工・要約発表)

(2) インコロイ 800の500~650°Cにおけるクリープ破断データの外挿(日本冶金・要約発表)

(3) 高温クリープ破断強度データの評価(歴史的展望)(川崎重工・要約発表)

2. クリープ破断強度の外挿について

金材技研で試験実施中の2鋼種(2¹/₄Cr-1Mo鋼および18-8ステンレス鋼)のクリープ破断データをもとに1万,3万,10万hの外挿を各社にお願いし各社が従来行ってきた方法による外挿結果が11機関より主査および幹事に提出があり,この取りまとめのためそれぞれ外挿方法に関しその感想を求められた.

鉄鋼基礎共同研究会

高炉内反応部会

第16回部会 開催日:6月11日.出席者:大森部会長,ほか22名.